Season2

大学の国際化促進フォーラム：『国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開』

2022 年度 Intercultural Collaborative Learning（ICL）
単位互換履修生　募集要項

1.　ICL プロジェクトについて

東北大学、福島大学、東京外国語大学、信州大学、大阪大学、神戸大学の６大学（ICL コンソーシアム）は、文部科学省大学の国際化促進フォーラム事業の支援を受け『国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開（ICL プロジェクト）』を 2021 年度に開始しました。このプロジェクトは留学生と国内学生の協働を授業・活動に組み入れた国際共修（ICL）の授業実践を通じ国内外の機関と共有し、高度化、国際的通用性の向上を図りながら国内外に横展開することを目的としています。

本プロジェクトでは、2022 年度に ICL コンソーシアムが開講する６学際領域に関連する国際共修授業科目（ICL 科目）を単位互換可能な形で提供します。[1]これら大学に在籍する学生は、在籍大学の定める範囲内で他大学の ICL 科目を履修することが可能です。単位互換履修生として履修を希望する方は、本募集要項に従い出願してください。

2.　学修到達目標

本プロジェクトによる単位互換可能な授業交流を通じて、学生の国際的な学習体験の多様化と国・地域・大学を超えた学生ネットワークの形成・拡大を図り、国際性を重視し世界共通の課題の解決に挑む新時代のグローバル人材を育成します。授業では科目コンテンツの学修と文化的・言語的に多様な背景をもつ学生との意味ある交流（meaningful interaction）等を有機的に融合し、学びの質を高め、各学際領域に設定した学修到達目標の達成を目指します。

学際領域	学修到達目標
SDGs	持続可能な開発目標に対する理解を促進し、多様な視点で世界共通の課題に対する解決策を地球市民として提案する力を伸ばす
震災・復興	阪神・淡路大震災、東日本大震災の被害や減災・防災について学び、復興のプロセス・成果を世界に発信する力を身につける
異文化理解	言語・文化背景の異なる人たちを理解・受容し、自文化をクリティカルに再考する中で、新しい価値観や創造力を身につける
産学連携・ リーダーシップ	グローバルな環境で価値観の異なる人とでも協働し、課題発見・解決に能動的に関わろうとするコミュニケーション力・行動力・リーダーシップを習得する
日本文化・社会	日本の文化・歴史・慣習・社会事情に深い造詣をもち、日本の魅力や課題を多角的な視点で分析・議論する力を身につける
地域社会との協働	地域社会の魅力や課題、また地域に暮らす人々を理解し、グローカルな視点で地域の発展につながる提案力・行動力を身につける

[1] 科目により単位互換が認められない場合があります。単位互換の可否については所属大学に確認してください。

Season2

3. ICL 科目（単位互換科目）

2022 年度は６つの学際分野から以下の ICL 科目（日本語又は英語）を開講します。開講科目については、p. ４の「2022 年度 ICL 開講科目一覧」をご覧ください。また、各科目の詳細及びシラバスは ICL プログラムウェブサイトをご覧ください。科目によっては定員や対象学年（セメスター）が定められていることがあります。

4. 募集対象者

東北大学、福島大学、東京外国語大学、信州大学、大阪大学、神戸大学に履修期間を通じ在学する学部学生となります。**（大学院生は対象外です。）**その他、学部相当の交換留学生（特別聴講学生）も各大学の取り扱いにより履修可能な場合がありますので、希望する方は所属する大学の窓口に問い合わせてください。

5. 受講定員

科目により受講定員が定められており、履修希望者数が定員を上回る場合は開講大学での審査の結果、希望する科目の履修ができない場合がありますのでご留意ください。

6. ICL 科目履修までの流れ（申請方法）

履修を希望する方は、以下の手順で行ってください。

1 在籍大学における学内申請手続きの有無を確認し、指示に従い手続きを完了させる。
2 ICL 科目履修申請フォームから必要事項を入力する。
3 申請フォームの内容を基に、開講大学が授業科目履修の可否について審査する。
4 申請結果について在籍大学を通じ申請者に通知する。
5 開講大学の案内に従い、ICL 科目の履修を開始する。

7. 申請期間

各学期の ICL 科目の履修申請期間は、以下のとおりです。

- 前期：2022 年 3 月 7 日～3 月 25 日正午
- **後期：2022 年７月１２日～9 月６日正午**

8. 申請にあたっての確認事項

事前に以下の点を確認のうえ履修申請をしてください。

- 在籍大学で事前に確認・手続きを行う必要がある場合、その指示に従ってください。
- 履修を希望する科目が指定する履修要件（例：英語力）を満たしているかをシラバス等で確認してください。
- 開講大学により授業時間が異なります。時間割の重複は認められませんので、履修を希望する ICL 科目と前後する自大学の科目の授業時間に重複がないか必ず確認してください。履修単位数の上限を超えることのないよう、在籍大学のルールを確認してください。

Season2

9. 在籍身分

履修を許可された学生は開講大学の特別聴講学生の身分を有します。

10. 成績評価と単位認定

ICL 科目の成績評価は開講大学の定めによります。修得した成績の単位認定方法は、在籍大学において確認してください。

11. 授業料等

ICL 科目を履修するための授業料・入学料・検定料等は徴収しません。その他、実習費・材料費等の有無についてはシラバス等で確認してください。

12. 受講方法

ICL 科目は、原則、オンライン授業となるため、受講の際に、各自パソコンやインターネット環境等が必要となります。

13. 履修辞退手続き

原則として ICL 科目の履修辞退はできませんので、申請前に履修計画をしっかり立ててください。やむを得ない事情により辞退する場合は、所属大学の担当窓口へ申し出てください。

14. 公欠

公欠については開講大学の定めによります。

15. 問い合わせ先

本プロジェクト並びに ICL 科目の履修等に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

大学	部署	メール
東北大学	教育・学生支援部留学生課 ICL プロジェクト事務局	icl-admin@grp.tohoku.ac.jp
福島大学	国際交流センター	ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp
東京外国語大学	学務部教務課教務係	kyoumu-kakari@tufs.ac.jp
信州大学	グローバル化推進センター	icl-shinshu@shinshu-u.ac.jp
大阪大学	国際部国際学生交流課留学生交流係	icl-osaka@ml.office.osaka-u.ac.jp
神戸大学	学務部学際教育課	stdnt-gks-kyoumu@office.kobe-u.ac.jp

Season2

2022 年度 ICL 開講科目一覧

2022 年度に開講する ICL 科目一覧となります。各科目の詳細及びシラバスは、ICL プログラムウェブサイトをご覧ください。

【後期（秋学期）開講科目】

学際領域	開講大学	開講科目名	講義題目等	教授言語	単位数	曜日・講時	定員 ※1
SDGs	東北大学	国際教養 PBL	人権教育の促進	英	2	火・3（13:00～14:30）	10
	東京外国語大学	日本の文学と文化を知る２	日本の食文化	英	2	水・4（14:20～15:50）	10
震災・復興	福島大学	国際共修Ⅰ（Intercultural Co-Learning Ⅰ）	学生情報発信プロジェクトの運営と発展	英	1	木・6（18:00～19:30）	各大学３程度（計 15 名程度）
		Understanding Post-Disaster Fukushima	福島を包括的に理解する	英	2	月・5（16:20-17:50）	25 名程度
異文化理解	東北大学	多文化特定課題	敬語・日本語－メタバースで世界の言語と比較する－	日	2	水・4（14:40～16:10）	最大 5 名
	大阪大学	異文化コミュニケーション入門	異文化コミュニケーションの理論と実践	英	2	水・4（15:10～16:40）	5-15
	神戸大学	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	日・英	2	木・5（17:00～18:30）	１０
産業連携・リーダーシップ	東北大学	キャリア関連学習	日本企業の人事管理システムとキャリアデザイン講座　-国際共修ゼミ-	英	2	月・1（8:50～10:20）	20
		多文化特定課題	異文化コミュニケーション応用：パーソナルリーダーシップ（PL）	日	2	火・2（10:30～12:00）	5
	信州大学	グローバル人材論（「グローカル」マインド養成）	グローバル人材論（「グローカル」マインド養成）	日	2	金・4（15:10～16:40）	各大学３まで

Season2

日本文化・社会	東北大学	多文化間コミュニケーション	日本言語文化の不思議発見	日/英	2	水・4（14:40～16:10）	若干名
	東京外国語大学	日本の現在を知る２	現代日本のジェンダー入門	英	2	水・3（12:40～14:10）	１０
	大阪大学	日本のメディアとコミュニケーション	日本のメディア、コミュニケーションに関する考察	英	2	水・3（13:30～15:00）	各大学２まで
	神戸大学	総合科目Ｉ多文化共生のための日本語コミュニケーション	総合科目Ｉ多文化共生のための日本語コミュニケーション	日	1	月・5（17:00~18:30）	5０
地域社会との協働	東北大学	多文化 PBL	仙台地元企業について学び、課題を解決しよう	英	2	木・4（14.40~16.10）	若干名
		多文化 PBL	宮城の地元企業へのインタビューを通して、地方企業の魅力を探る-国際共修ゼミ-	英	2	火・3（13;00~14:30）	5 名程度

※1：定員は ICL コンソーシアム加盟大学からの参加可能人数。定員の記載がない科目は、定員を特に定めていない。